

きたすま

母の胎から生まれる前に、わたしはあなたを聖別し、
諸国民の預言者として立てた (エレミヤ1・5)

No.223 (2月号)

2022年 1月 30日発行
発行 カトリック北須磨教会
〒654-0151

神戸市須磨区北落合2-3-1

発行人 高橋 聡

編集 広報委員会

シノドス

高橋 聡 神父

教皇様は、来年シノドスをすると言われました。シノドスとは何年か一度、世界の司教様方の代表者が集まってする会議のことですが、今回のテーマは共に歩む教会のためということになりました。

共に歩むのですから、信徒の皆さんもともに歩む招きに参加してもらうということで、今回は皆さんからの聞き取りをすることになっています。

旧約聖書を少し調べてみたのですが(もちろん全部ではありません)、太祖たちの中で、エノクとノアが神と共に歩んだと書かれています。二人ともすごい人たちですが、後に預言者がイスラエルの民に向かって神と共に歩むように伝えていきます(ミカ書)。

このように私たちは神と共に歩むように招かれているのですが、それが教会の歩みでもあるということなのではないでしょうか。そして、私たちも共に歩みましょうということです。確かに私たちはキリストという道を共に歩む家族、兄弟たちなのです。

そのために、私たちはミサに共に集まって祈り、お互いのために祈り、助け合い、私たちの身近な人や、周りの人と共に歩もうとします。

でもそのときにもう一つ大切なことがあるように思います。それはある程度好き嫌いもあるし、得意不得意もあるわけですが、努力してでも成長していかなければならないこと、つまり、対話するという事ではないでしょうか。

現代の教会は対話なくしては成り立たなくなってきました。それで私たちにも、人の話を聞き、また、こちらの思いを伝えていくことが以前より必要になっているようなのです。

人はさまざまです。演説のようなことは得意だけど、人の話を聞くのは苦手という人がいます。人の話に耳を傾けることは得意だけど、自分の心の思いを伝えるのが苦手で、ただ、黙って我慢し続けているという人もいます。

ですがお互いに一歩ずつでも努力せずに、皆が自分の傾向だけに従っていますと、教会の中でも亀裂が起こったり、陰口が横行したりすることがあるように思うのです。人間はお互いに理解し合わないと本当にもろいものだと思います。

人の話をよく聞き、そして適切に話すこと。それが多くのことを解決していくことになるのではないかと思います。

ペンケレシ神父さま ご帰天



1985年、北須磨教会の献堂から1992年まで7年間、初代主任司祭として司牧されたジャン・ペンケレシ神父さまが、1月7日(金)午前6時40分に静養先のドムスガラシア(尼崎市)にて帰天されました。死因は老衰とのことで、年末お見舞いに行った方によると大変お元気だったとのことで大往生のようです。98歳でした。

ペンケレシ神父は北須磨教会の後も伊賀上野教会を始め、日本各地で宣教司牧に努められ、最後は住吉教会近くに住まいし、小教区司牧を手伝いつつ、JR住吉駅前で作りのピラを配り説教するなど最後まで宣教師として熱心に働かれました。北須磨教会に来られる前も前身の須磨教会やJOCなどでお世話になった方も多いと思います。

葬儀は1月12日午前、カトリック神戸中央教会でパリ外国宣教会日本管区長のオール・フランソワ・ザビエ神父を始め、8人の司祭の司式で行われました。

式中、同宣教会のグイノ神父(洲本教会)はペンケレシ神父の若いころのエピソードなども紹介しながらその熱心さをほめたたえ、また得意ののどでその魂を慰められました。



当日は厳しい寒さにもかかわらず、大勢の信徒もお別れに駆けつけ、花を手向けました。最後に司式司祭全員でサルベレジナを捧げ、鐘楼の鐘の鳴る中、多くの人に見送られながらペンケレシ神父は旅立ちました。

車列の後を追うように舞い降りてきた風花が印象的でした。

神戸 越年・越冬活動

毎年、年末年始に行われる神戸越年越冬活動が、今年も12月28日から1月4日まで三宮の東遊園地で行われた。

この活動は震災後、神戸のボランティア団体が協同で実行委員会を結成し、毎年、炊き出し、生活相談、医療相談などを東遊園地にテントを立て行ってきたもので、今年で27回になる。昨年、今年とコロナ禍のため活動は縮小しながらも続けている。



今年も12月29日と1月1日がカトリック社会活動センターの担当で北須磨教会からも数名が参加した。

12月29日は「追悼の日」で亡くなられた方々への祈りを皆で捧げた。毎年数名の新しい名前が並ぶとともに、これまで亡くなられた多くの方の名札に心が痛む。

1月1日はお雑煮とおにぎり



ミカン、おにぎり等)を用意していた。

昼近くなると大ぜいの方々が集まり、列を作り配られるのを待つ。この日は140人余りが来られた。お椀いっぱいのお雑煮を頬張り、おみやげを受け取ると三々五々散っていった。



(毎月の炊き出しは社会活動センターの主催で小野浜公園で行われ、北須磨教会は第2火曜日を担当している。)

開祭

入祭の歌

立つ

会衆が集まる(*1)と入祭の歌を歌う(*2)。その間に、司祭は奉仕者とともに祭壇へ行く。祭壇への表敬の後、司祭は席に向かう。入祭の歌が終わると、司祭は会衆に向かって次のことばを唱え、**司祭と信者は自分に十字架のしるしをする(*3)**。

父と子と聖霊のみ名によって。

会衆 アーメン。

あいさつ

司祭は手を広げて、会衆にあいさつする。

主は皆さんとともに。(司教が司式する場合 平和が皆さんとともに。)

会衆 また**あなた**とともに。(*4)

回心の祈り (一) (*5)

司祭はたとえば次のようなことばで一同を回心へと招く。

皆さん、**聖なる祭儀を行う前に、わたしたちの罪を認め、ゆるしを願いましょう。**

短い沈黙の後、一同は手を合わせて頭を下げ(*6)、一般告白の式文と一緒に唱える。

全能の神と、兄弟**姉妹**(*7)の皆さんに告白します。

わたしは、思い、ことば、行い、怠りによってたびたび罪を犯しました。

聖母マリア、すべての天使と聖人、そして兄弟**姉妹**の皆さん、

罪深いわたしのために神に祈ってください。

続いて、司祭は罪のゆるしを祈る。

全能の神、**いつくしみ深い**(*8)父がわたしたちの罪をゆる

し、永遠のいのちに導いてくださいますように。

会衆 アーメン。

いつくしみの賛歌(キリエ)(*9)

いつくしみの賛歌(キリエ)が続く。「回心の祈り 三」を用いた場合は省く。

先唱 主よ、いつくしみを。 会衆 主よ、いつくしみをわたしたちに。

先唱 キリスト、いつくしみを。 会衆 キリスト、いつくしみをわたしたちに。

先唱 主よ、いつくしみを。 会衆 主よ、いつくしみをわたしたちに。

新しいミサの式次第解説(1)

北須磨教会典礼委員会

左の式次第は今年の待降節第一主日(2022.11.27)から使用される新しい式文です。主に司式者が唱える奉献文や複数の形式のある応答の一部は省略していますが、出来るだけカトリック中央協議会 HP 掲載資料に忠実に記載しています。

- 司式者と会衆の応答以外は斜体にして分かりやすくしました。
- 今回の変更箇所と、注意すべき点所をゴシック体で示しています。
- 本文中の(*○)と解説の(*○)は対応するコメントを示します。

- *1: 「会衆が集まると」ミサが始まります。集まらなると始められません。ミサの予定時間の前には着席して静かにミサの開始を待ちましょう。
- *2: 入祭の歌を歌わないときは入堂と共に入祭唱を唱える。入祭唱を唱える間はオルガン演奏は控えめに。
- *3 「十字架の印」は明記されています。司祭と共にはっきりと印をしましょう。
- *4 今回の変更の中で大きなところでは「あなたの霊」ですが検討の結果こうなりました。他の箇所でも同様に「あなたとともに」になります。「主は皆さんとともに」のほかにも呼びかけの言葉はありますが応答は同じです。
- *5 回心の祈りにはいくつかの形式がありますがここでは第一形式を記します。
- *6 ローマ規範版の胸を3度打つ動作に代わる日本の適応、はっきりと頭を下げます。
- *7 男性だけでなくという趣旨でしょう。「兄弟」が「兄弟姉妹」に変わります。
- *8 「いつくしみ深い父」が随所に出てきます。従来の「あわれみ」が「いつくしみ」と表されています。回心の祈りの第二、第三形式においても同様です。
- *9 「あわれみの賛歌」も「いつくしみの賛歌」となりました。また、賛歌の歌詞も文語体から口語体が変わっています。ただ典礼聖歌を歌う場合は従来の文語の旋律を歌うことができます。新しい式文を覚えるためには賛歌も唱えて早く覚えることが大切かも知れません。

とても中途半端ですが、第1回はここまでとし、続きは次回に。(文責 H)

キリスト教一致祈禱週間共同礼拝



1月18日から25日のキリスト教一致祈禱週間に大阪教区では大阪、神戸、和歌山の3か所で共同礼拝が計画され、神戸では1月21日(金)夜にカトリック神戸中央教会で4つの教派による共同礼拝が行われた。

今年のテーマはレバノンの中東教会協議会が選んだマタイ福音書(2・2)の「東方の星を見て、拝みに来た」に基づき、酒井補佐司教を始め、日本聖公会、日本キリスト教会、日本福音ルーテル教会の4教派の牧師、信徒が集い、聖書のみ言葉と共同祈願で、それぞれの教派の違いを乗り越え、教会の一致と世界平和を祈った。

当日は肌を刺すような寒さで参列者は多くはなかったが、共に一つの典礼で祈る体験は得難いものがあり、多くの方に体験していただきたかった。



ミサローテーション

		○印のある日に与っていただけます						
主日	1月30日	2月6日	2月13日	2月20日	2月27日	3月2日	3月6日	
地区	年間第4	年間第5	年間第6	年間第7	年間第8	灰の水曜日	四旬節第1	
1地区			堅信式					
2地区	○		希望者自由参加		○	希望者自由参加		
3地区				○				
4地区		○					○	
5地区		○			○			
6A地区	○			○				
6B/7地区							○	

お知らせ

社会活動委員会

堅信式が行われます

2月13日(日)酒井補佐司教の司式で、エリザベトM・TさんとZ・B・Fさんの堅信式が行われます。第1・6B・7地区の日ですが、ご希望の方はどなたでも参加いただけます。どうぞお祈り下さい。

評議会から

1月16日(日)評議会が開かれました。来年度の予算案、活動計画等が主な議題でした。なお、1階ロビーに議事録を掲示していますので、ご覧ください。

2月20日より3月にかけてエアコン設置についての説明会を行う予定です。

主日の教会の解錠は9時30分となっています。委員会等の準備などでそれより早く来られる場合は鍵をご用意ください。

典礼委員会

3月2日(水)は灰の水曜日で午前10時からミサがあります。ローテーションは設けていませんので、どなたでもご参加ください。なお古い枝は2月27日までにお持ちください。

社会活動センターより以下の品物の依頼がありました。

毛布、敷パッド、寝袋、消毒用アルコール(液体)、使い捨て貼るカイロ、紙コップ、使い捨てスプーン、割り箸(コンビニなどのもの)

特に今、防寒服と長袖Tシャツが必要とされているらしいです。玄関に箱を置いてありますので、ご協力よろしく願います。

ラザリオの祈り

毎週土曜日 14時からお御堂で

帰天されました。

10月12日

マリア H・M さま(6B地区)

永遠の安息と

ご遺族の平安をお祈りいたします。

お元気で

7地区

ラザロ M・M さま

加古川教会へ

編集後記

デルタ株がようやく下火になってきてほっとしていたら今度はオミクロンが大炎上。まんぼうが施行されて再び自粛モードに。人の心の弛みに容赦なくつけこまれているようで、人類は試されているのだろうか？ シノドスの問いかけに私達共同体はどう答えたらよいのだろうか？

(K,J,H)

マンスリースケジュール2月



2022

日・曜日

2/1	火			
2	水			
3	木			
4	金			主日の聖書を読む会(14:00～)
5	土			ロザリオの祈り(14:00～)
6	日	年間第5主日	ミサ10:00～	第4・5地区
7	月			
8	火			社会活動センター炊き出し(北須磨でのおにぎり作りはありません)
9	水			
10	木			
11	金			主日の聖書を読む会(14:00～)
12	土			ロザリオの祈り(14:00～)
13	日	年間第6主日	堅信式 ミサ10:00～	第1・6B・7地区ですが、どなたでもご参加いただけます
14	月			
15	火			
16	水			
17	木			
18	金			主日の聖書を読む会(14:00～)
19	土			ロザリオの祈り(14:00～)
20	日	年間第7主日	ミサ10:00～	第3・6A地区
21	月			
22	火			
23	水			
24	木			
25	金			主日の聖書を読む会(14:00～)
26	土		広報委員会(10:00～)	ロザリオの祈り(14:00～)
27	日	年間第8主日	ミサ10:00～	第2・5地区
28	月			
3/1	火			
2	水	灰の水曜日	ミサ10:00～	どなたでもご参加いただけます
3	木			
4	金			主日の聖書を読む会(14:00～)
5	土			ロザリオの祈り(14:00～)
6	日	四旬節第1主日	ミサ10:00～	第4・6B・7地区

注) 大阪教区から新しい通達が来るまでは、上記ローテーションでのミサ参加になります。

カトリック北須磨教会ホームページ <http://cathkitasuma.web.fc2.com>

葬儀用電話の運用は終了しました。緊急時は高橋神父(090-6329-5709)にご連絡ください。

- ◇ ミサに与る時は、マスクを着用し、手指の消毒に心がけてください。
- ◇ 『聖書と典礼』はご自分の分を持参してください。

